

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 高清水・瀬峰地区

宮城県沖地震(連動型)の場合

○ この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(連動型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。

○ この地震は、1793年に宮城県沖の広い範囲で同様な地震が起きたとされ、次の宮城県沖地震でも起きる可能性があるとされています。マグニチュード 8 を想定しています。

○ なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○ 地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町・利根断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(連動型、津動型)、どこでも起こる宮城下の地震)を調べ、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を特定します。

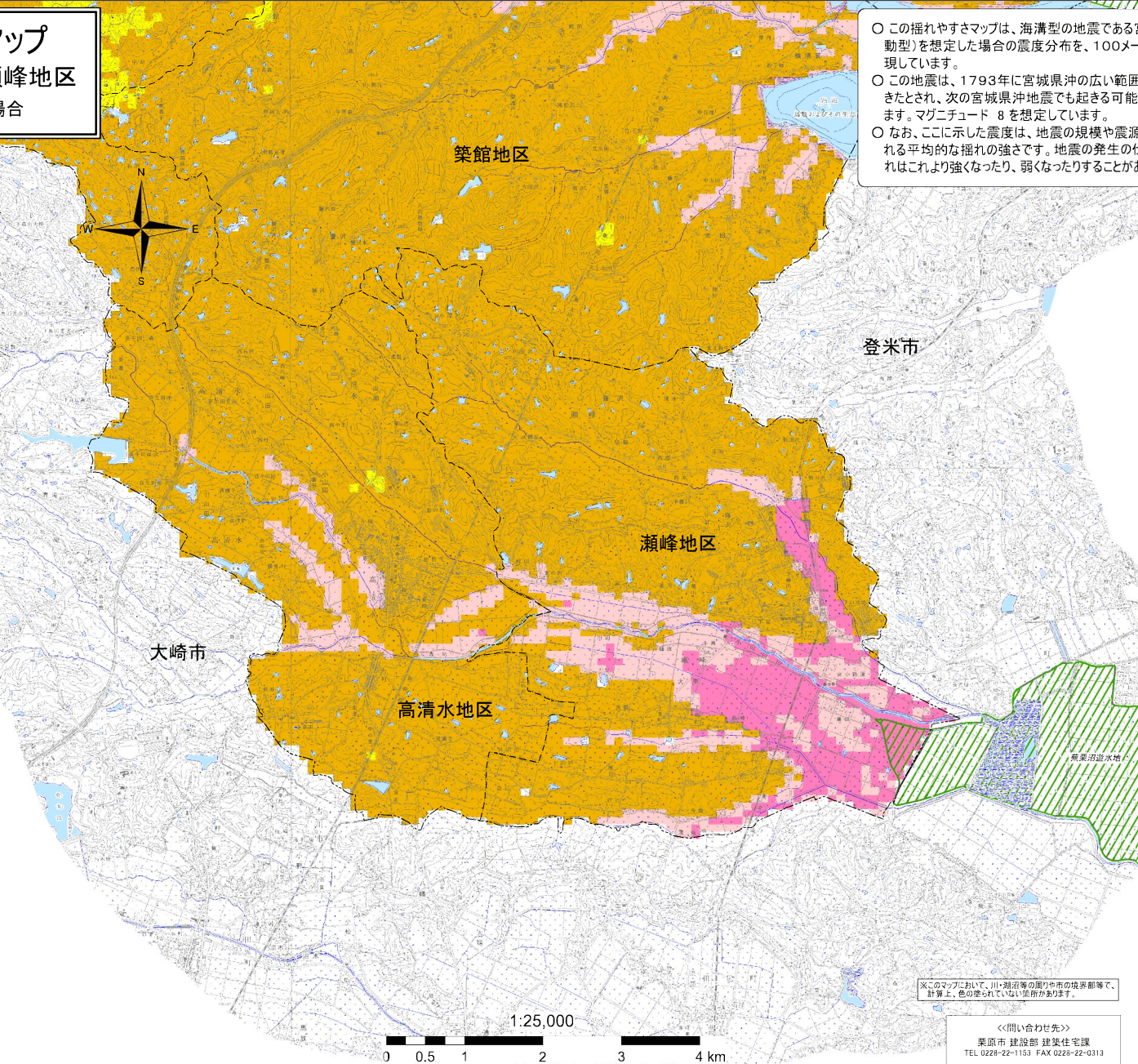
○ それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが変わる性質を用いて、「地表面付近(地下の基礎)での揺れの大きさ」を計算します。

○ 体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地表面付近での揺れの大きさ」に「土質・表層の地震」揺れやすさを加味することで求めることができます。一般に、土質の地震の揺れやすさは、土質が硬いほど揺れやすくなります。このマップでは、全線を100メッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に決め、表示しています。

■震度の大きさ＝震度とはなにか？

地震が起きたとき、ある場所での揺れの強さを示すのが震度です。震度の単位はm/s²で表わすことができます。震度は、震源からの距離や震源の深さ、震源の規模によって異なります。震度は、震源からの距離が近いほど、震源の規模が大きいほど、震源の深さが浅いほど、震度が大きくなります。

震度	人間	屋外の状況	屋外の状況	水遣り
1	ほとんど感しない。			
2	揺れを感じる。			
3	揺れを感じる。室内のものが揺れる。			
4	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。			
5	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。			
6	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。壁や天井が揺れる。			
7	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。壁や天井が揺れる。物が倒れる。			
8	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。壁や天井が揺れる。物が倒れる。道路が割れる。			
9	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。壁や天井が揺れる。物が倒れる。道路が割れる。建物が倒れる。			
10	揺れを感じる。室内のものが揺れる。室外のものが揺れる。水遣りをする。壁や天井が揺れる。物が倒れる。道路が割れる。建物が倒れる。大規模な被害が生じる。			



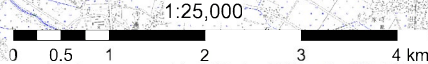
凡例

震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の埋りや市の境界部等、計算上、色の塗られていない箇所があります。

<<問い合わせ先>>
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総検、第980号)